

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主
確定日 3月31日
なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。

定時株主総会 毎年6月

株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが
できないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>

株主名簿管理
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
（お問合せ先）中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）（証券代行事務センター）
電話03(3323)7111（大代表）

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話および
インターネットでも24時間承っております。

電話 ☎ 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

44th

第44期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

weds

株式会社ウェッズ



weds

 CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

車と社会の未来を
グローバルに創造する



R100
古紙配合率100%再生紙

証券コードNo.7551

● トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。
私達は人と車の
未来に向けて、
常に新しく価値ある商品を
創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の
営業方針と会社・株主・社員
三位一体の取り組みにより、
会社の繁栄と安定を追求して、
株主利益の向上と
社員のライフプラン充実に
努めます。」



代表取締役社長 川口 修

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社の第44期中間報告書をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、サブプライムローンに端を発した米国経済の減速やリーマンブラザーズの破綻に端を発した世界同時金融不安により、企業業績と個人消費の落ち込みが急激に懸念される状況となりました。とりわけ、ガソリン価格の高騰は、消費者心理の悪化と車離れを加速させており、当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要は極めて低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは懸命な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連卸売事業、開発事業の増収等により9,161百万円（前年同期比3.0%増）、当第2四半期連結累計期間の営業損失は15百万円（前年同期は42百万円の営業損失）となりました。当第2四半期連結累計期間の経常利益は55百万円（前年同期比24.7%増）、第2四半期連結累計期間の純利益は21百万円（前年同期比25.1%増）と増益になりました。

通期の見通し

通期のわが国経済の見通しは、依然として厳しい環境が続くことが予想されますが、当社グループの通期の見通しは本年7月に発表しました通り下記のように見込んでいます。

(連結業績の見通し)

売上高	23,000百万円	前年比	98%
営業利益	450百万円	前年比	95%
経常利益	500百万円	前年比	95%
当期純利益	300百万円	前年比	100%

当第2四半期連結累計期間の事業セグメント別業績

●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業は個人消費の低迷の影響が懸念されましたが、売上高は7,252百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は5百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。これは関連子会社のスーパースターの業績が順調に推移したこととウェッズオリジナル中級アルミホイールの売上が好調に推移したためであります。

●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業は個人消費の低迷等により、売上高は740百万円（前年同期比12.6%減）、営業損失は57百万円（前年同期は29百万円の営業損失）と前年同期より減収減益となりました。

●開発事業

開発事業は中央精機㈱等に対する機械設備納入増加により、売上高は669百万円（前年同期比71.8%増）、営業利益は7百万円（前年同期比54.1%減）と増収減益となりました。

●福祉事業

福祉事業は有料老人ホームの順調な推移により、売上高は234百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は28百万円（前年同期比34.6%増）と増収増益となりました。

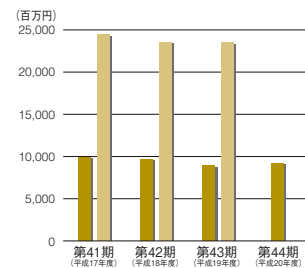
●その他

携帯電話代理店事業はauショップ三河安城店の閉鎖（平成20年6月）とソフトバンクの機種変更の販売方法の変更により売上高は342百万円（前年同期比19.8%減）、営業利益は△0百万円（前年同期は13百万円の営業利益）となり減収減益となりました。

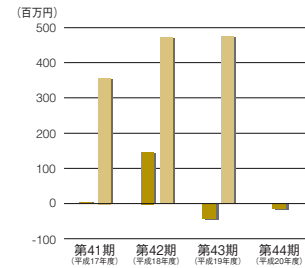
平成20年11月

代表取締役社長 川口 修

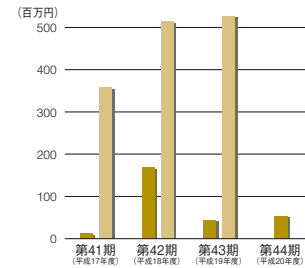
売上高



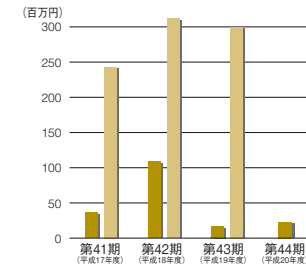
営業利益(損失)



経常利益



四半期(当期)純利益



〔当中間報告書の表記について〕

当期から金融商品取引法に基づく四半期制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当中間報告書では、株主様の利便性を考慮し、以下のように記載しています。
・収益関連数値については、期初からの累計値を用いております。
・当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし、ご参考として前年比較に関する数値を記載しております。また前年同期(中間期)について「第2四半期」と記載しています。

セグメント別売上高・営業利益(第2四半期連結累計期間)

							消 去	計
		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発事業	福祉事業	その他		
売上高	第44期第2四半期	7,252	740	669	234	342	△77	9,161
	第43期第2四半期	7,122	846	389	225	427	△113	8,897
営業利益	第44期第2四半期	5	△57	7	28	△0	0	△15
	第43期第2四半期	△60	△29	13	21	13	△1	△42

● 四半期連結財務諸表

44th

四半期連結貸借対照表(要約) (単位:百万円)

科目	第44期第2四半期末 平成20年9月30日現在	第43期末 平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,146	7,236
現金及び預金	841	489
受取手形及び売掛金	2,998	3,729
たな卸資産	3,314	2,288
繰延税金資産	74	132
その他	922	604
貸倒引当金	△5	△8
固定資産	4,924	5,026
有形固定資産	3,320	3,340
建物及び構築物	1,692	1,747
土地	1,431	1,431
その他	196	162
無形固定資産	369	372
投資その他の資産	1,235	1,313
投資有価証券	647	726
繰延税金資産	24	29
その他	601	596
貸倒引当金	△39	△39
繰延資産	1	2
資産合計	13,072	12,265

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	第44期第2四半期末 平成20年9月30日現在	第43期末 平成20年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	4,093	3,184
買掛金	1,477	1,247
短期借入金	2,089	1,129
その他	526	806
固定負債	2,453	2,571
社債	700	700
長期借入金	1,332	1,447
繰延税金負債	80	95
退職給付引当金	42	47
役員退職慰労引当金	139	131
その他	158	149
負債合計	6,546	5,755
(純資産の部)		
株主資本	6,438	6,456
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,783	4,802
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	87	53
その他有価証券評価差額金	33	56
繰延ヘッジ損益	52	△3
為替換算調整勘定	1	—
純資産合計	6,526	6,510
負債・純資産合計	13,072	12,265

四半期連結損益計算書(要約) (単位:百万円)

科目	第44期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	9,161
売上原価	7,276
売上総利益	1,885
販売費及び一般管理費	1,900
営業利益(損失)	△15
営業外収益	92
営業外費用	22
経常利益	55
特別利益	25
特別損失	25
税金等調整前四半期純利益	55
法人税、住民税及び事業税	9
法人税等調整額	24
四半期純利益	21

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

科目	第44期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△412
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△42
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	805
IV 現金及び現金同等物の増減額	351
V 現金及び現金同等物の期首残高	489
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	841

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

【ご参考】 四半期連結損益計算書(要約) (単位:百万円)

科目	第43期第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	8,897
売上原価	7,035
売上総利益	1,861
販売費及び一般管理費	1,903
営業利益(損失)	△42
営業外収益	116
営業外費用	30
経常利益	44
特別利益	—
特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	44
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	16
四半期純利益	17

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

【ご参考】 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

科目	第43期第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△625
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△604
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	793
IV 現金及び現金同等物の増減額	△436
V 現金及び現金同等物の期首残高	747
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	311

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

SUPER GT 第7戦MOTEGIで “WedsSport IS350”が歴史に残る劇的な優勝を獲得!!



本年9月13・14日、ツインリンクもてぎ（栃木県）にて「SUPER GT 第7戦MOTEGI 300km RACE」が開催されました。

レースは天国と地獄を行き来する大波乱の展開で、“WedsSport IS350”は予選で最速の走りをみせてポールポジションを獲得しますが、何と再車検で不合格となりタイムを剥奪されてしまいました。

その結果、決勝は最後尾25番手からのスタートと大変厳しい始まりでしたが、織戸・阿部選手、チーム丸となり少しずつ順位を上げ、なんと最後尾スタートにも拘らず残り数周でトップにたち、そのままトップでゴールし優勝を獲得しました。

この最後尾スタートからの優勝はGTレース史上初となり、歴史に残る劇的な優勝となりました。



会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	135名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員

取締役社長 (代表取締役)	川口 修
常務取締役	谷越 時義
取締役	加藤 寛夫
取締役	大村 正夫
取締役	畑井 勇喜雄
取締役	山口 義弘
取締役	伊澤 秀
常勤監査役	川崎 史博
監査役	嶺木 邦彦
監査役	小林 和夫

※取締役加藤寛夫氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※監査役嶺木邦彦氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数	17,780,000株
■発行済株式の総数	4,445,000株
■単元株式数	100株
■株主数	587名
■大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
ソシエテ ジェネラル エヌアルエイ エヌオーデイテイテイ	413,500	9.30
石原 勝 成	242,759	5.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	222,000	4.99
碧海信用金庫	130,000	2.92
ウェッズ従業員持株会	112,310	2.53
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野 肇	59,100	1.33

■株価推移

